

# unjour

2015  
冬

いつもどこかで素敵な出会いを

**読者プレゼント**

北陸新幹線  
東京往復チケット  
抽選でペア3組様に  
プレゼント



## セレモニー会館 兼六西泉 リニューアルオープン



玄関ロビー



大部屋



また、お客様の事情によっては、ご自宅にご遺体のご安置がかなわない場合もあるかと思いますが、その場合には、直接会館にご安置することも可能です。

式場やロビーの共有スペース、外観に至るまで一新し、来館されるお客様の快適性を追及しました、生まれ変わったセレモニー会館兼六西泉をどうぞよろしく願います。

式場は、500名規模の大型葬から、数名ほどの家族葬まで、今まで同様すべてのニーズに対応いたします。控室は、ご遺族様たちが穏やかな時を過ごすことが出来るよう大幅に変更いたしました。室内にはバス、トイレ、ベッドルームや着付室を配し、リビングのフロアリングには床暖房を完備しております。

セレモニー会館兼六西泉は当社が初めて建てたセレモニー会館です。平成7年6月より約20年間、長らくご愛顧頂いておりましたが、この度改修しリニューアルオープンとなりました。



セレモニー会館兼六西泉 支配人 長澤明子

### 兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ  
**住所等変更をお知らせください**  
お電話またはEメールにて受け付けております。

**(076)242-0612**  
Eメール: [muraigrp@po.incl.ne.jp](mailto:muraigrp@po.incl.ne.jp)

### 編集後記

今回のアンジュールは西泉会館のリニューアルオープンに合わせて発行した為、予定の秋号は叶わず、冬号になり、お待たせ致しまして大変申し訳ございませんでした。

また、創刊号でご意見等、大勢の方から頂きまして、とてもうれしかったです。今後も応援よろしく願います。

### 読者プレゼント



同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。

**北陸新幹線 東京往復チケット**  
お寄せ頂いた中から抽選で  
ペア3組様に **プレゼント**

応募締切 平成 28年 1月 20日(水)

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

## 言葉・態度・行動を丁寧に

1級葬祭ディレクター 山崎智城 & 1級葬祭ディレクター 長瀬幸恵

## セレモニー会館 兼六西泉 リニューアルオープン



山崎 智城 (やまざき ちしろ) 1971年8月9日生

先月、結婚しました！  
趣味は、泳ぎにランニング。身体を動かす事が好きです！！

# 想いを込めて丁寧に

## 「言葉・態度・行動を丁寧に！」を心がけ、ご遺族の気持ちに寄り添って仕事しています

私は葬祭ディレクターとして、葬儀業務に関わっています。その範囲は多岐にわたり、病院からご自宅へのご遺体搬送から始まって、葬儀に向けての日時や場所の確定、ご自宅での納棺、当日のホール運営や、その後のフォロワーまで、葬儀全体のディレクションを行っています。

仕事をすることで、心がけているのは、「言葉・態度・行動を丁寧に！」ということ。ご遺族は悲しみに暮れ、一睡もせず泣き明かす方、食事を形にすることが、ディレクターとしての務め。どの儀式も大事なものであり、私が特に心を込めて行っているのが「納棺の儀」です。ご遺体を棺に納める「納棺の儀」のときには、悲しみが高ぶり、泣き崩れるご遺族も少なくありません。ですが納棺の儀は、故人様にとって最後の身支度。ご遺族にとっても、別れという現実を受け入れるための、大切なプロセスです。私にできるのは、生前のお元気だったご様子

事が喉を通らない方もおられます。ただしその一方で、「葬儀の儀式を遅滞なく進めなければならぬ」という状況にあります。「葬儀は初めて」というご遺族も少なくありません。極度の喪失感や悲しみの中にあるながら、限られた時間の中で準備を整えなくてはならないのは、とても大変なことです。ご遺族が抱えておられる不安を少しでもやわらげ、まったく後悔を残さない形で葬儀を進めるお手伝いがしたい……。そのためには、お気持ちに配慮しながら、丁寧な態度でお話を聞くこと、丁寧な言葉で伝えるべきことを伝え、丁寧な行動で葬儀

を偲んでいただけるように、丁寧に身支度のお手伝いをすること。とても気の張る瞬間ではありません。でも、「気持ちを込めてお手伝いすること、ご遺族と故人様の絆がより深まるように」と願い、丁寧に執り行っています。その結果、お客様から「山崎さんに担当してもらって本当に良かった。ありがとう」と感謝の言葉をいただく、心の底から喜びがあらふれてきます。そしてまた気持ちが引き締まるのです。—— 当意即妙。

これは私の座右の銘。仏教用語で「臨機応変」という意味です。状況や場面を見極め、ご遺族にとって納得の葬儀を進めるには、「臨機応変」であることが欠かせません。その基本となるのがご遺族のお気持ち。お話を丁寧に聞くことが、すべての原点になると実感しています。ご遺族にとって、その故人様を送り出す葬儀は、当然ながら一回きり。後悔を残さないためにも、ご遺族の気持ちを汲み、すべてを形にすることが大切です。だから私は「できない」と言わないことを、自分に課しています。

私の主な仕事は、お通夜と葬式での司会です。喪主様と打ち合わせをしながら必要事項を確認し、司会原稿へと落とし込んでいきます。ご遺族様は、大切な方が旅立った悲しみに暮れた中で、葬儀の準備を進めなくてはなりません。葬儀の2日間には、さまざまな儀式があります。弔問客と会い、さまざまなお悔やみの言葉も受けます。現実を受け入れようとしながらも、思い出がよみがえって悲しみが増したり、優し

い言葉に救われたり。気持ちが沈んだり戻ったりと、情緒不安定な時間を過ごしているのです。ですから、打ち合わせが必要とはいえ、なるべく負担をかけてはいけません。打ち合わせをするにも「今なら少し落ち着いておられそうだから、きつと大丈夫」

をとり、お気持ちに寄り添って仕事を進めます。その結果「悲しい中でも、長瀬さんのおかげで心残すことなく送ることができました」との言葉をいただいたときには、本当に報われた気持ちになります。「この仕事を選んで良かった。ますます頑張ろう」と思う瞬間でもあります。

## 悲しみに暮れるご遺族の気持ちを汲み取ることを大切にしています

思うのです。そのためにも、状況をきちんと見極めたり、喪主様のお人柄やお気持ちの浮き沈みを敏感に察知したりすることが大切だと、常々実感しています。

私にはまだ関係ないと思っていた「死」を自分事として感じたときに、「今しかできないことを、精一杯やらなくては！」と思ったのです。それからというもの、仕事に対しての責任をより強く感じるようになり、ました。「お客様のために一瞬一瞬、もっと集中して取り組もう」と思うようになったのです。

この仕事に就いたのは、「地域に貢献したい」という気持ちがあったからでした。しばらく地元を離れたときに想いが深まり、「地元の方とコミュニケーションをとりながら、お役に立つ仕事がしたい！」と考えたことがきっかけだったのです。

私たちにとって、葬儀は何度も経験すること。でもお客様にとっては、大切な人を送る、一生に一回の儀式。そのためにも、「倦(う)まず、弛(たゆ)まず」の姿勢で、決して気をゆるめず、集中して仕事に取り組んでいます。今改めて強く決意しています。



長瀬 幸恵 (ながせ ゆきえ) 1969年11月21日生

趣味は映画観賞。食べる事が大好きで、あんこが大好きです。

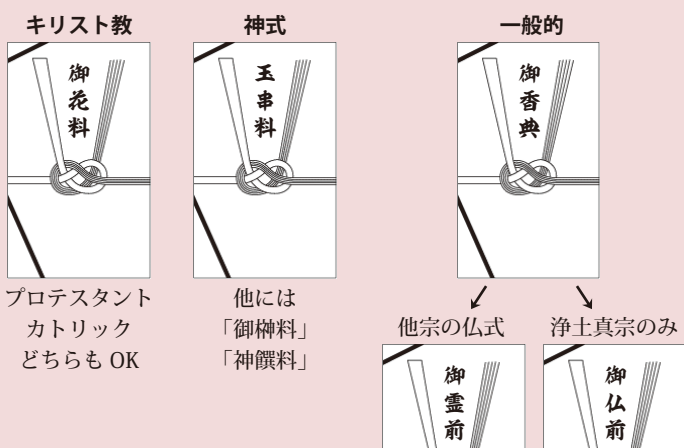
仕事の性質上、とても辛い場面に立ち会うことも多々あります。特に辛いのが、お子さまが先に旅立つ「逆縁」(ぎやくえん)の葬儀。でも、こんなときこそコミュニケーション

# Q&A

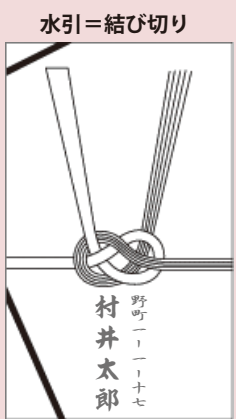
人生の節目にまつわるお悩み解決

## Q お香典の正しい書き方は？

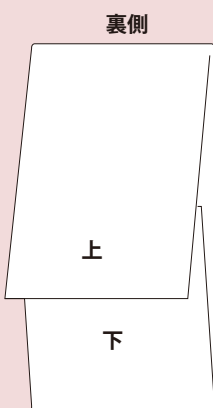
A 金沢では一般的に「御香典」が使われます。浄土真宗に限り「御仏前」、その他の仏式は「御霊前」とするのが良いでしょう。神式は、「玉串料」この他に「御神料」「神饌料」。キリスト教は、「御花料」とすると良いでしょう。



水引きの色は、「結び切り」といって「再び繰り返さない」という意味の黒白。名前は「涙で墨が薄まった」という意味で薄墨が望ましい。二重に袋を使うと「不幸を重ねる」との忌み言葉から、住所を書き入れる事によって中包みは使わない事が望ましい。



裏側は、「悲しみを流す」との意味から上部を上になるように折ります。逆は慶事用で「喜びを受け止める」との意味になります。



ちなみに、お金を入れる時は、水引をしたまま上部からそのまま入れます。

